

「御霊の実③ 平安」

ピリピ 4:6~9

2015.10.25 Alex Tan

1

概観

人間の努力で作りに上げる「平安」は、ただ皮肉や無関心になるだけ。御霊の実のみが「愛、喜び、平安」などを同時に結ぶことができる。

アウトライン

1. 平安をなくす思考:期待と心配
2. 平安をつぶす敵:世界、肉、サタン
3. 平安を育てる方法:感謝と祈り V6-V7
4. 適用 V8-V9

2

1. 平安をなくす思考:期待と心配

- 1) 日本と香港、マレーシアと香港。満員電車。レストランで食事。期待の違い。
- 2) ストレス=期待はずれ、失望。神様と人間に対する正しい理解を持ち、適切な期待を持つように。創造主(完全)-創造物(不完全)。
- 3) 私たちはマルタ型になりやすい(ルカ 10:41-42)。GK: メリムナス=心配、思いがバラバラ。マリヤはその一つ、良い方を選んだ=思いが一本筋。イエス様から目をそらすと、心配のもとになるだけ。

3

2. 平安をつぶす敵:世界、肉、サタン

- 1) 世界: 考え方、文化、常識、世俗主義。現在、見えるものに価値を置く。反対=永遠(Ⅱコリント4:17-18)。
- 2) 肉: 自己中心、支配欲、神様を必要としない傲慢さ。肉と霊の闘い(ローマ8:5-6)。
- 3) サタン: 永遠の救いを取り消せないなら(ヨハネ6:39)、救いの確信と喜びを滅ぼしにかかる(ヨハネ10:10)。疑いと揺さぶり。
リスク: 合理主義、律法主義、迷信主義。
敵の攻撃はall 3in1、対処方法もall 3in1。

4

3. 平安を育てる方法:感謝と祈り V6-V7

- 1) V6: あらゆる場合に感謝をする=神様の主権、タイミングを認めること。例:早産。
- 2) V6: 祈りと願いを神に知っていただく=神様との交わりを絶やさない。生活のすべての分野において祈る、実生活を分けない。
- 3) V7: 主にあって=イエス様を通して神様と人格的な交わりを持つこと(ローマ5:1)。

一番の平安=救い、永遠の命の確信。

5

4. 適用 V8-V9

- ① たましいに言い聞かせる(詩篇42:5)。思い乱れているとき、自分の思いを御言葉で支配するように。
- ② 神様のことを思い巡らす(ピリピ4:8)。真実、誉れ、正しさ、清さ、愛、評判の良さ、徳は神様のご性質。
- ③ 平安な生き方を実行する(ピリピ4:9)。イエス様が共にいてくだされば大丈夫だ。

6